## 富士見市防災環境カルテ

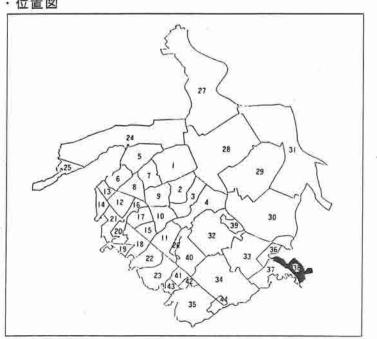
# 水谷東3丁目町会 位置番号 38

#### ・概 況

水谷東3丁目は、富士見市の南東部に位置し、東側は新河 岸川、南側は柳瀬川に面している。昭和34年以前は家屋も少 なく、水田として利用されてきた。近年、水田が盛土されて 工場や住宅が建てられるようになり、昭和35年代に急激に宅 地化が進んだ。水害履歴をみると、これまで台風に伴う大雨 や梅雨前線、秋雨前線による集中豪雨により家屋浸水、道路 冠水の被害を受けている。地盤は、10m以上の軟らかい沖積 層(氾濫平野)で形成されている。

したがって、震度6クラスの地震が発生すると木造建物の約 33%が破損し、出火・延焼が予想され、また、新河岸川に面 する住宅地の道路が狭く、消防車の活動が制限されるなど、 危険性が高いと予想される。

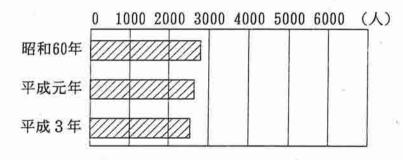
#### 位置図



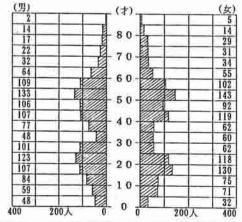
## 1.基礎指標

• 面	積	0.163km²
•人 1	□(亚成3年10月1日現在) 男	1,257人
	女	1,230人
	計	2,487人
· / L	密度	15,257.7人/km
7	19.3252	
· 寝	たきり老人数	4
	た き り 老 人 数 と り 暮 し 老 人 数	3人19人

#### 人口推移



## · 年令別人口(平成3年)

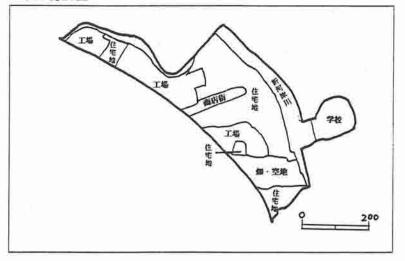


·商住工混在率住居系	91.9%
店舗系	5.6%
工業系	2.5%

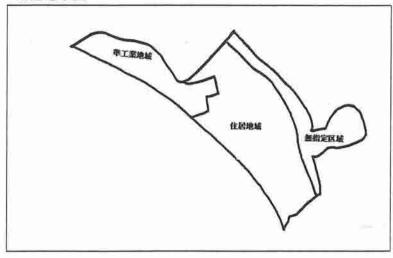
# 富士見市防災環境カルテ

# 水谷東3丁目町会 位置新号 38

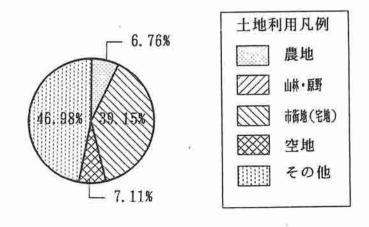
#### ·町会現況図



#### ·用途地域図



#### · 土地利用現況



## 2. 建物指標

・建 物 棟 数	1 0 0 0 44
木造建物	1,2200
	1,1400
非木造建物	7 7 棟
・建 物 面 積	36,802.48 m
木 造 建 物	26,958.02 m
非木造建物	9,844.46 m²
※建物面積は1	
10°	
・住 宅 率	90.9%
・住     宅     率       ・木     造     率	90.9% 93.7% (1,143棟)
	93.7% (1,143棟)
・木 造 率	93.7% (1,143棟)
<ul><li>・木 造 率</li><li>・昭和34年以前のス</li><li>・同 上 率</li></ul>	93.7% (1,143棟) 木造家屋実棟数 14棟
<ul><li>・木 造 率</li><li>・昭和34年以前のス</li><li>・同 上 率</li></ul>	93.7% (1,143棟) 木造家屋実棟数 14棟 1.2%

## • 建物用途別現況

				0	50	100%
業	務	施	設			
商	業	施	設	r	.	
宿	泊	施	設	1		
娯	楽	施	設	i		
遊	技	施	設	Ī		
住			宅	77777		7771
共	同	住	宅	22222	<i>////X/////</i>	222
店	舖併	用住		a		
	業場伊					
10.10	公 方		設			1
文	教 厚			i	1	
127 Ar	輸 倉		- 504			
	化学工	100		15		
	工業		設			1
	- ビス					
	の他		設			
	内工	The Control of the Co	設			
-3.		木 旭	nx [			

# 3. 道路空地指標

・道	B	各	率	43本	263.8本/km²
• 幹	線道	道 路	率	1本	6.1本/kmi
・公	共 空	地 面	積		0 m²
	共 空		率		0 %
• 1,	人あたり	公共等	巴地		0 ㎡/人

# ・公共空地内容(\*指定避難所)

名	称	面	積
1.	高 校		0 m²
2.	中学校		0 m²
3.	小学校		0 m²
4.	公園		0 m²

# 4.消防指標

	入間東部地区消防組合富士見消防署				
所轄消防署	応援協定	所沢市、川越地区消防組合:			
	/心及 颁足	新座市、志木市各消防本部			
SAME I. IA	10 19-1 (40)				
・消 火 栓	本 数	10本			
・1消火栓あた	り世帯数	83.5世帯/本			
		E DESTRUMENTAL			
•消防水利貯;	水施設数	1 ( 0)か所			
(	) 内は	t容量40トン以上の施設数			
・消防団機械製	20日 番 恒	0			

# 5. 危険物指標

• 給油取扱所	2か所
• 一般取扱所	1か所
・屋内と屋外(タンク)貯蔵所	3 か所
・地下タンク貯蔵所	2か所

# 富士見市防災環境カルテ

水谷東3丁目町会 位置番号 38

# 6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下床上	道路冠水
昭和56年10月(銀24号)		か所
// 57年 9月(銀18号)		か所
// 58年 7月(大 雨)	50棟 0棟	か所
平成 元年 8月(大 雨)	8棟 0棟	か所
" 2年11月(銀28号)	0棟 0棟	3か所
// 3年 9月(韻18号)	455棟 322棟	か所
年 月( )	棟	か所
年 月( )	棟棟	か所
・崖崩れ被害( 年	~ 年)	0.44
1 W H I I I I I I I	~ 年)	0件
	~ 年)	0 件
・1923関東大地震被害		
家 屋 全 壊		0戸
家 屋 半 壊		0戸
被害率		0 %

# 7. 防災基盤施設

· 自主防災組織参加世帯率

·飲 用 井 戸 本 数

消	防	0 か所		
病	院	0か所		
医	院	0 か所		
休日診	療所	0 か所		
警	察	0 か所	警察署	派出所
水防力	施設	6か所	水谷東第1排水機場 水谷東第2排水機場 水防倉庫、土のう積 高芝排水ポンプ場 増寿久湯前ポンプ場	
・自主	防災組	織 (数)	高芝自治会防災部東都自治会自主防災路	2

東都自治会自主防災隊

84.7%

0本

# 富士見市防災環境カルテ

# 水谷東3丁目町会 位置委号 38

## 8. 危険度評価

· 内 水 災 害 危 険 度	4ランク
· 外 水 災 害 危 険 度	0ランク
・土 砂 災 害 危 険 度	0 ランク
・木造建物被害危険度	4ランク
・木造建物出火危険度	4ランク
• 木造建物延焼危険度	4ランク
	*
地 盤 地盤の地震動 危 険 度	4ランク
危険度 液 状 化 危 険 度	3 ランク

## ※ 危険度評価ランク

危	険	度	無	微	1/1	中	大
ラ	ン	ク	0	1	2	3	4

#### 内水災害危険度



木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危险度

※ 想定震度 6(+) (烈震(強))

地盤は、新河岸川、柳瀬川沿いの10m以上の沖積層上に1~2m程度の盛土をし、地盤の硬軟を示す値(N値)が0~2と低いシルト質の軟らかい地層となっている。このような地盤は、地震の際大きく揺れ、旧新河岸川、別所堀雨水幹線沿いで液状化が予想される。

#### 10. 問題点の整理

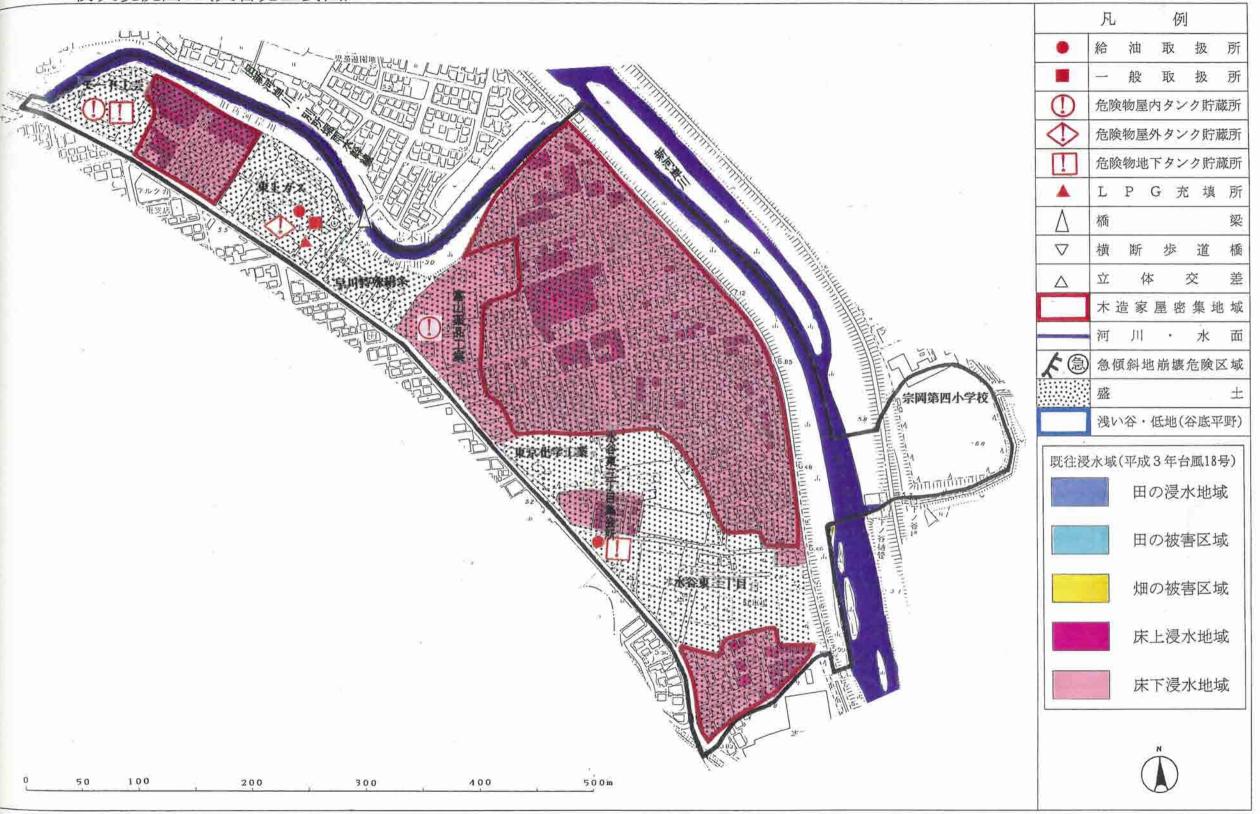
9. 地盤条件

							発		生	_	多	-		因						-					災	害		抑		止		要		因					
1. 内水5	水	災	害	旧	新	河	岸	][]		别	所	堀	雨	水	幹	線	か	Ġ	0	1		水	防	能	力	水质	5 施	設	が	整			て		往	0	浸	水	×
			溢	水	0	都	市	化	進	展	0	反	面		密	集	伯	宅						1,60-4															
			地	内	0	雨	水	処	理	施	設	が	+	分	K	整	備	さ																					
			n	て	V١	な	V١.	•	ま	た		H.	新	河	岸	]1]	遊	水										25.00	70 <del>75</del> 12	T	7 1929		-	Wille	14	~		0.5	
		75																																					
2. 外水	水	災	害	新	河	岸	Jt[	0	越	流	0									2.		防	災	組	織	自主	防	555	組	締1	i.	2	絽	総	が	結	БŸ	*	h
																												_			1131	ATTAC.	,	,	~		~	2	
倒壊	危	険	地	盤	条	件	0	悪	1	た	め、	ż	木:	告	建	物	0	倒	3.		消	防	能	カ			JII	沙山	vio	の付	字	您	生	拙	0		改	が	
																							1.1	-	0.0														3
																				1																			
																												6 5 /	,	3.55	124	71.	1.4	21.	45	46.1		//	
出火	火	危	険	木	造	建	物	di i	密急	集	L.	8 1	L	易:	35	昆	在	L	7	4.	F	纺	火	能	カ				tz :	首品	冬沙	いい	0	建	Hón .	0	不	娱	N
				お	n.		危阻	険!	物	6	5	3 (	7) -	で	H :	火	0	危	険		1.0			A. To	20														
																		, p. , 1		1															_	, ·		4	*
																										115-4-12		100	~ 1	,,	J 10	IEN		•					
. 延;	焼	危	険	木	造	建!	物力	d\$ 1	密约	集	L.	3	至土	也 5	枢 7	ðš .	低	<		5.	3	辟華	# 山	2 容	カ	水谷	東	ıh:	学术	❖.	7k	公	中	学	校		ok s	2	#
																		1.74		1:5:0					, ,														
×				8	, 3	延力	尭 1	色	倹 月	度 7	35 A	寄し	۸.					-																					
	,											23																											
. その他の	他	の災	害	無	V١,	ď																																271.5	
			0.577																										ر ⊤	0	/	<i>V</i>	1 :3	13 1	d. 1	11.1	1	/1	
	倒出	倒出妊娠	倒壊火焼焼	外 壊 火 焼 の	外     倒     出       本     大     た       た     た     た	外 壊 火 焼 か な	外 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	本	本 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	型地 (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本	本ののい十岸 条	温地 大	本水のの設、で 地水ののいな分川 (地域 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	本のの設に 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次ののでは 一次のので 一次ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一	歴	溢水。都市化進展の反が旧の (表) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	溢水。都市化進展の反が旧の (を	溢水。都市化進展の反が十分に 地内のいなに機能して 地内のいなに機能して 新河岸川の越流。 外水災害 地盤条件の悪いため、 大造建物が高い。 本造建物が密集し、空地率が 性が高い。 本造建物が密集し、空地を 性が高い。 本たり、高い を集し、空地を 性が高い。 本たり、高い を集し、でと見込まれ が、近焼危険度が高い。	溢水。都市化進展の反面、密集組地内の雨水処理施設に当時間が出力が出力に機能している。 (本)	外 水 災 害 新河岸川の越流。 倒 壊 危 険 地盤条件の悪いため、木造建物の倒 壊の危険性が高い。 出 火 危 険 木造建物が密集し、工場が混在して た は お り、 危険物もあるので出火の危険 性が高い。 延 焼 危 険 木造建物が密集し、空地率が低く、 不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。	滋水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川の越流。 2. 2	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2.	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2. 防 地盤条件の悪いため、木造建物の倒壊の危険性が高い。 1 は 大 危 険 本 造建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。 本 造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。 5. 遊費	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2. 防災 地盤条件の悪いため、木造建物の倒壊の危険性が高い。 木造建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。 木造建物が密集し、空地率が低く、不然領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。 5. 避難り	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2. 防災組 2. 防災組 4. 防火能 壊の危険性が高い。 4. 防火能 なり、危険物もあるので出火の危険性が高い。 木造建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。 木造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。 5. 避難収容	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2. 防災組織 3. 消防能力 複の危険性が高い。 3. 消防能力 4. 防火能力 おり、危険物もあるので出火の危険性が高い。 本造建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。 木造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。 5. 避難収容力 5. 避難収容力	滋水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川の越流。	滋水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川の越流。	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。 2. 防災組織 日主防災組でしてがある。 1. 防災組織 でしているがら全地整条件の悪いため、木造建物の倒壊の危険性が高い。 2. 防災組織 でしため、海岸川沿岸の大きの危険性が高い。 4. 防火能力 は促促進され、地域の防火性が高い。 木造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。 5. 避難収容力 水谷東小学校公民が高い。 4. 防火能力 水谷東小学校公民が高いるが高いる 4. 防火能力 水谷東小学校公民が高いる 4. 防火能力 水谷東小学校 4. 防火能力 水谷東小学校 4. 防火能力 4. 防火能力 水谷東小学校 4. 防火能力 4.	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  1	溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  1	滋水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  1. 防災組織は、2でいるが、全世帯を組織を含める。  2. 防災組織は、2でいるが、全世帯を組織を含める。  2. 防災組織は、2でいるが、全世帯を組織を含める。  2. 防災組織は、2でいるが、全世帯を組織を含める。  2. 防災組織は、2でいるが、全世帯を組織を含める。  3. 消防能力	<ul> <li>溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。</li> <li>2. 防災組織は、2組でいるが、総合のを全世帯を組織を変える。</li> <li>当ま防災組織は、2組でいるが、総合のを全世帯を組織を変える。</li> <li>当ま防災組織は、2組でいるが、総合のを全世帯を組織を変える。</li> <li>当時の危険性が高い。</li> <li>一次を設定を対し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。</li> <li>一次を設定を対し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。</li> <li>一次を設定を対し、工場が混在しており、企業が変集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。</li> <li>一次を設定を対し、水谷東の前には、水谷東のでは、水谷東の上で、水谷東の上で、水谷東の住民を収容するため、地域のは、水谷東の住民を収容するため、水谷東の住民を収容するため、水谷東の住民を収容するため、水谷東の住民を収容するため、水谷東の全民を収容するため、水谷東の大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大</li></ul>	<ul> <li>溢水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。</li> <li>2. 防災組織</li> <li>1. 防災組織</li> <li>2. 防災組織</li> <li>3. 消防能力 といるが、金色性帯を組織をでいるが、金色性帯を組織をでいるが、金色性帯を組織をある。</li> <li>3. 消防能力 といるが、全世帯を組織をでいるが、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では</li></ul>		滋水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  4. 防災組織は、2組織が結でいるが、総合的に災害を強力が変集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。  一般をした、不透建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。  一般をした、不透質域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。  一般をした、不然領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。  一般をした。  一般をした、不然領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。  一般をした。  一般をした、不然ので出火の危険をした。  一般をした。  一般を表件の悪いため、本造建物の倒しまる。  一般を表件の悪いため、本造建物の関連ない。  一般を表件の悪いため、本造理がある。  一般を表件の悪いため、本造理がある。  一般を表件の悪いため、本造理がある。  一般を表件の悪いため、本造理がある。  一般を表件の悪いため、本造理がある。  一般を表件の悪いため、本造性の一般を表情がある。  一般を表情に表情がある。  「は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は、方は	選水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  2. 防災組織  2. 防災組織  1 主防災組織は、2組織が結成でいたが、総合的に災害危険がこととから全世帯を組織化する必ある。  割 整条件の悪いため、木造建物の倒壊の危険性が高い。  3. 消防能力 接の危険性が高い。  4. 防火能力 は促進されているが、流合的に災害危険がいる。消火栓、消防水利貯水施減が、治療験物もあるので出火の危険性が高い。  延焼危険 大造建物が密集し、工場が混在しており、危険物もあるので出火の危険性が高い。  延焼危険 木造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。  正焼危険 木造建物が密集し、空地率が低く、不燃領域も50%以下と見込まれるため、延焼危険度が高い。  をの他の災害  をの他の災害	選水。都市化進展の反面、密集住宅地内の雨水処理施設が十分に整備されていない。また、旧新河岸川遊水池が十分に機能していない。新河岸川の越流。  2. 防災組織 自主防災組織は、2組織が結成さる。 自主防災組織は、2組織が結成さるととから全世帯を組織化するが、総合的に災害化するの。を生帯を組織化するの。  1. 防火能力 接の危険性が高い。  2. 防災組織 自主防災組織は、2組織が結成さるとがら全世帯を組織化するが、総合的に災害化するの。  3. 消防能力 接の危険性が高い。  3. 消防能力 接近 他が高い。  4. 防火能力 と

## 11. 解決の方向性

水害予防対策として、①旧新河岸川遊水池の機能の整備、同地域の排水ポンプの能力の向上 ②側溝排水管からの遊水池の水の逆流防止 ③可搬式ポンプ、防災資機材の整備 ④遊水池と住宅地との隔壁のかさあげを重点的に早急に実施していくことが望ましい。本地域は、地形的に新河岸川、柳瀬川の遊水地帯として機能してきた。この事実を踏まえ都市型水害防止のため新河岸川流域総合治水対策事業(県)と調整しながら住宅地内の雨水の流出抑制施設や住宅のかさあげを促進するための補助金制度などの対策が望まれる。住宅地内の生活道路は、幅員が2~6m程度しかなく、消防活動上、また、避難行動上にも支障があるなど課題が多い。避難道路の確保のために避難可能な道路の拡幅及び幹線道路へ接続する計画道路が必要と思われる。また、避難可能な道路沿いの自動販売機の転倒、ブロック塀の倒壊による道路の狭隘化を防ぐ対策の指導が望まれる。

# 防災現況図A(災害発生要因)



防災現況図B(災害抑止要因)

